

第3回 PTA 役員会 報告

日時：令和8年9月3日（木）10:00～11:00

場所：応 接 室

1 校長挨拶

校長より新学期にあたっての挨拶がありました。

あわせて、9月2日に発生した給食室の窓ガラス破損について報告しました。破損したガラスは内側から割れた様子で、給食室特有の環境要因により熱や気圧の変化が影響した可能性も考えられますが、現時点で原因は特定されていません。

破損したガラスが砂状となって窓枠付近に飛散していたため、安全確保を最優先とし、当日の給食は献立を変更し、牛乳・パン・防災備蓄用クッキーを提供しました。パンを食べることが難しい生徒には、防災備蓄用の白米を提供しました。また、防災備蓄用クッキーの実物を PTA 役員の皆様にご覧いただきました。

役員の皆様からは、「帰宅後にお腹が空いた様子だった」「連絡ではあまり食べていないと聞いていたが、本人は意外と気にしていなかった」など、ご家庭での様子について共有がありました。

窓ガラスの交換および清掃は業者により当日中に完了したため、9月3日から通常どおり給食を提供できることを報告しました。また、原因は特定できていないものの、再発防止に向けて施設の状況を注視していくこと、本件についてご心配をおかけしたことをお伝えしました。

2 案件・報告

（1）来年度の対府要望について

次回役員会において、来年度の対府要望事項についてご意見をいただきたい旨を説明しました。

（2）防災研修について

9月18日に実施する避難訓練において、PTA 役員の皆様に撮影協力を依頼しました。

学校所有の iPad を使用して撮影を行うこととし、撮影場所や撮影内容について確認しました。

（3）教職員の個人携帯端末の携行について

過去の事案を踏まえ、本校では原則として授業中に教職員が個人携帯端末を携行しない運用となっています。

一方で、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害発生時の対応を考えると、生徒の安全確保や教職員自身の安否確認のため、個人携帯端末が必要となる場面も想定されます。そのため、使用に関するルールを明確にした上で、携行を認める方向性について教頭より説明し、PTA 役員の皆様の意見を伺いました。

PTA 役員からの意見

- ・ 防災上の必要性は理解できるが、保護者によって受け止め方は異なると思われる。
- ・ 教職員を信頼することが前提となる。
- ・ 過去の事案を踏まえると再発防止も重要であるが、防災の観点からは必要性も感じる。
- ・ 必要性和不安の双方があり、判断が難しい。

校長からの説明

- 過去の事案に限らず、不適切な使用が生じないような仕組みづくりが必要である。
- 本日の意見交換のみで携行を認めるのではなく、具体的な運用ルールを示した上で改めて協議する必要がある。
- 教職員自身の安否確認や家族との連絡が可能になることは、安全確保につながる側面もある。
- 携行方法についても、ポケットに入れずサコッシュ等を使用するなどを検討できる。
- 性別に関係なく、全教職員が共通のルールを遵守することが重要である。

PTA 役員からの要望

- 文書配付だけでなく、保護者へ直接説明する機会を設けるのはどうか。
- 校長から直接説明を受けることで理解が深まる。
- 給食室の窓ガラス破損についても、文書の場合と直接説明を受ける場合では受け止め方が異なったため、説明会の開催を検討してはどうか。

協議の結果、具体的な運用ルールや保護者への説明方法について学校として整理した上で、改めて協議を行うこととなりました。

（４）バザーくじ引き景品の選定について

バザーで使用するくじ引き景品について協議しました。

昨年度までは行事委員が中心となって景品の選定・発注を行い、就労支援コースの授業で梱包作業等を実施していました。今年度は専門委員がなくなったことに加え、発注や梱包の負担、予算面等を考慮し、あらかじめくじ形式になっている商品を活用する案について検討しました。

商品カタログを確認しながら協議を行い、景品内容については引き続き PTA 役員の皆様に検討いただくこととなりました。

（５）防犯カメラの設置について

校長室、事務室、職員室に、夜間警備中、異常察知で作動する防犯カメラが設置されたことを報告しました。

なお、これらの防犯カメラは施設管理や防犯を目的としたものであり、生徒の安全確保を主目的としたものではありません。そのため、生徒の安全確保を目的とした防犯カメラ設置については、来年度の対応要望として引き続き要望することも可能であることを共有しました。